

取材先	しものせき国際交流ねっと	
企画名	活動紹介	
備考		
取材日	2025年6月2日(月)天候[晴れ] [11:00~12:20]	取材地 しものせき市民活動センター

しものせき国際交流ねっとは、「下関は大きな町で港があるにも関わらずグローバルな活動があまり盛んではない」ということに気が付き、海外を訪れた際に助けてもらった経験から外国の方に日本に来て楽しく過ごしてほしいという想いで2011年から活動を始め、今年で15年目となる。その中で、会員人数は現在60名ほどに増加した。

しものせき国際交流ねっとは、異文化理解をしてもらうため、あらゆる国の料理講座を開いたり、日本に在留している外国出身の方と交流するといった外国人の支援をしたりと、外国のことを知ってもらうことを目指す活動を多く行っていた。具体的には、山口大学の留学生や日本に2名しかいない国の留学生、アフリカの知名度の低い国の方々との交流として、たこやきパーティーやどら焼き等和菓子の食事会、新年パーティーなどを行っていた。

当初下関では、行政での外国人支援は柔軟な対応が難しいであろうと思ったため、市民活動で外国人の支援を始めた。だが、これから日本に住む外国人が増えてくる中で、彼らが日本にトラブルなく馴染んでくれるためには、やはり行政の取り組みが必要であると感じたことや、外国を訪れた際にホームレスや貧困により「ものもらい」を行う子ども達を見て、日本はこうなっていてほしくない、また、貧富等いろいろなレベルの外国人が日本にやってくる中で彼らをどのように日本の生活・住民に落とし込むかが大変、などの話を聞いて行政が国際交流についてもっと行動しなければならないのかもしれないと考えさせられた。

レポート

